

平成29年度 第1回 総合教育会議 会議録	
1 日 時	平成29年10月31日（火）午前9時～10時10分
2 場 所	委員会室
3 出席者	町 長 加藤 憲郎 総務課長 岡崎 利光 総務課課長補佐 大堀 勝文 教育長 佐々木孝司 職務代理者 高崎 義典 委 員 森 祥子 委 員 大須賀美穂 委 員 小林 成子 教育総務課長 佐藤 茂文 教育総務課課長補佐兼指導主事 山田 徹
総合教育会議 議事次第（司会進行 総務課）	
PART 1	本日の会議の説明（総務課長）
PART 2	町長が今年度の町行政と教育を語る
PART 3	各教育委員からの意見聴取
PART 4	町長からの総括
〔開会時刻：午前9時〕	
大堀課長補佐	<p>予定された時刻となりました。ただいまから平成29年度総合教育会議を始めたいと思います。会議の司会を務めさせていただきます総務課の大堀です。よろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、本年度は今年2月に委員長の役職がない新教育委員会制度の導入による教育長の任命、教育委員の交代による新教育委員の任命もございました。つきましては、ご出席の皆様にご自己紹介をお願いします。</p> <p>まずは、加藤憲郎町長よりお願いします。</p> <p>〈出席者全員の自己紹介〉</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>なお、はじめにお願いを申し上げます。</p> <p>本日は、議事録作成の関係上、ご発言の際には御氏名を告げていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは本日の総合教育会議の進行について申し上げます。別添次第をご覧ください。そこに記載しておきましたが、本日の会議を4つのPARTによって進めたいと考えます。</p> <p>御協力をよろしくお願いいたします。それではPART1です。</p> <p>岡崎総務課長よろしくお願いいたします。</p>
岡崎総務課長	<p>総務課長の岡崎です。よろしくお願いいたします。</p> <p>平成27年度から教育委員会制度が変わり、全国すべての都道府県及び市町村に首長が主宰する「総合教育会議」の開催が義務付けられました。</p>

昨年度の『総合教育会議』におきましては、教育総務課からのご意見も踏まえまして「年に1回、10月開催ではいかがか」との提案をさせていただきました。その後、担当間で協議した結果、提案が妥当であるとの判断で本日招集の運びとなりました。

さて、本年度はお手元に配布しております昨年度の会議録内容を参考にさせていただきながら、今年度の教育活動を中心として、町行政との関連も視野に入れ意見交換を行っていただきたいと思います。

なお、本日意見交換されました内容につきましては、町ホームページ上で公表いたします。町行政と教育委員会がお互いに共通理解を持って連携し、復興途上にある「新しい町づくり」に生かしてまいりたいと思います。

それでは、教育委員会を招集して行う平成29年度「総合教育会議」を開催いたします。

PART2では「町長が今年度の町行政と教育を語る。」ということで話します。

PART3では、各教育委員の皆様からお一人ずつ意見聴取させていただきます。

その際、今年度を振り返りながら教育委員として、お気づきの点や御意見などをいただきたいと思いますと考えております。

最後のPART4では締めくくりとして、町長からのまとめの言葉をお願いいたします。

大堀課長補佐

ありがとうございました。

それでは、早速会議に入らせていただきます。加藤町長から今年度の町行政と教育についてお話しいただきます。よろしくお願いいたします。

加藤町長

震災から7年が経過しようとしております。町の復旧・復興も着実に進んできております。

皆さん御承知の通り、今月の15日の日曜日には相双地方新地町総合防災訓練を実施し、安心安全の町づくりを目指したところです。

さて、新地駅周辺市街地復興整備につきまして申し上げますと、交流センターの建設が基本・実施設計を今発注しております。なお、年度内工事を発注して平成30年の12月には完成の運びとなる予定であります。

また、津波で被害がありました海釣り公園ですが、整備工事を行い、これも来年12月には完成予定で進めているところです。

次に教育関係についてですが、駒ヶ嶺公民館について申し上げます。平成27年度に体育館の床が沈下する現象が顕著になりました。そこで、耐震診断を行いました。結果として耐震強度を満たしていないとの判断がなされました。また、体育館が建てられている地盤が液状化現象を起こしていることが判明いたしましたので、平成28年12月より利用者の安全確保の問題から使用を禁止しております。将来的な見地に立って見ますと、体育館は勿論ですが公民館自体の老朽化も顕著であり、地盤が弱体でもあることから同じ場所に再建するよりは新たに土地を求めて新築した方が賢明であるとの判断をしたところです。今年の9月議会において、駒ヶ嶺公民館建設用地取得について議会に提案をし議決を頂きました。現在、体育

館の実施設計を発注しておりまして、来年度には体育館建築を発注したいと考えております。

学校教育は勿論、社会教育や文化・スポーツ面、あるいは公民館教室、サークルでの生涯学習に関しましては、昨年にも増して積極的に行われていると感じております。

特に学校教育では、新地町の4つの小中学校がそれぞれ活躍していると認識しております。中学校はスポーツ面で中体連県大会で柔道部と男子バレーボールが優勝しました。この二つの部が同時に優勝したことは中学校の創立以来、初めてのことと聞いております。両部とも東北大会に進んだばかりでなく、柔道部は福岡県で開催されました全国大会にも出場しました。役場では全国大会出場を知らせる横断の垂れ幕を準備し、役場前面に下げ、町民の皆様には知らせたところでもあります。これら二つのチームは素晴らしい功績を残してくれました。

さらに、今年度に入ってから小学校の活躍には目を見張りました。福田小学校がICT活用の協働学習定着で時事通信社教育奨励賞努力賞、新地小学校は優良PTA文部科学大臣表彰、駒ヶ嶺小学校は全国花のまちづくりコンクール農林水産大臣賞に輝きました。

また、学校給食でも地元でとれたタコ・イカ・小女子・アジ・平目に加えて、今月からはホッキ貝も使用されたと報告を受けております。まさに「地産地消」の実践であると大変嬉しく感じております。

さて、昨年度の会議では教育委員の皆様方から貴重な御意見を頂戴いたしました。

今回退任されました加藤潤一委員長には、子どもたちからよく声をかけられておりますとお話いただき、地域での声かけやあいさつが防犯上からも大切だという御意見を頂戴いたしました。町の人たちからも「子どもたちが元気にあいさつをしてくれますよ。」というお話を聞かされております。私が常々申し上げております「笑顔あふれる町づくり」の原点はあいさつではないかと考えておりますので嬉しい限りです。

高崎委員からは、学制発布前に共立学校としてスタートした観海堂建学の精神の重要性や伝統を伝える大切さを説かれ、歴史や地域文化を学べる施設があれば良いとの御意見をいただきました。このことにつきましては、私自身も重要であるとの認識は常々持っております。これまでも申し上げているのですが、観海堂の将来の在り方や既に発掘してある縄文土器や文化財の保存や史跡を紹介する場づくりなどについても鋭意検討を加えているところです。

森委員からは、児童クラブをお世話いただいております、子どもの学習環境に直に接している観点から学習支援員やICT支援員の配置等により学習環境が充実してきたこと。また、生涯学習の観点から高齢になられた多くの皆さんが生き生きとしている姿が見える町づくりの大切さ。そして、それを見る若者たちが共感して私たちも住みたいと考える町づくりをして頂きたいとの要望を頂きました。子どもたちの学力も年々向上しているとの報

告は頂いており大変嬉しく思っております。また、校長先生方や保護者の皆様方からの様々な要望も一つ一つしっかりと受け止め、教育環境を整えることを支援してまいりたいと思います。

大須賀委員はPTAの立場も踏まえながらも、グローバルな視点でICT教育が新地町学校教育の大きな特色であり、財政的負担が大変ではありますがICT支援員の継続も含めた支援を提案頂きました。さらにICTを活用した魅力的な町づくりも必要であるといったご意見もいただきました。

また、春休み中の松戸市の女子児童誘拐事件を例に、子どもの安心安全な通学のために死角をなくす町づくり、それがひいては高齢者にも優しい町づくりにつながりますとの御意見をいただきました。

今回は、ICT教育環境の整備についての大切さを具体例でお示しいただきました。ICT教育につきましても、各学校がマスコミなどでも大きく取り上げられるなど、全県的にも新地町が広く知られるようになったことも事実です。また、学力面でも相乗効果で向上し、ややもすると、ひっこみがちであった子どもたちが、自分の考えをまとめて意見をしっかりと述べられる態度が定着してきているとのことで、先生方からも子供たちも自信を持ってきていますとの報告を受けております。

町長として教育予算の編成・執行に当たっては教育委員会とは密なる連携を図りながら、十分な配慮をいたしております。今後も、これを継続してまいりたいと考えております。

先日は駒ヶ嶺小学校近辺で不審な福井ナンバーの白いワゴン車が何回も往来しているとの通報を子どもたちからあり、教育委員会と町役場、そして警察と情報を共有するなどして注意深く対応し、子どもたちを見守っております。

さて、今年度の教育委員に小林成子さんが御就任になりました。初めての「総合教育会議」となりますが、教育委員たちとのコミュニケーションは既にしっかりとおとりになられていると聞き及んでおります。リラックスして、新たな委員になられる前の外から見た新地町の教育活動などについて、新鮮な御感想と御意見を頂戴できればと思っておりますのでよろしく願います。

以上ですが、町長として教育委員会とともに、子どもたちは勿論、町民全体に元気と笑顔があふれる町づくり・人づくりを推進してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願います。

大堀課長補佐

ありがとうございました。

それでは、PART3に移ります。教育委員の皆さまから御意見をいただきます。時間の都合上、簡潔にお願いできればと思います。

よろしく願います。

まずは高崎委員、よろしく願います。

高崎委員

私の方からお話申し上げます。

今、町長の方からお話がありましたとおり、文化財に関する今後の保存、

展示、学習する場ということは今後も検討して進めていただきたいと思います。

次にいじめや不登校についてでございますが、それに関して新地町は数少ない報告でありますけども、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの方々の力がとても必要になってくると思います。それを今後安定的に確保するために町の予算としてスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの方々の更新をお願いしていただけたらと思います。

あとは学力向上の件でございますが、ICT教育について、先生方の熱心なご指導により学力の方も少しずつ上がっていると聞いておりますが、また更なる向上を目指すためには、子供もそうですが、先生方の研修の機会を多く取り入れた方がいいと思います。個人個人の先生方に研修をしていただくのが時間的にも大変であれば、町で専門の講師の方を派遣していただき、先生方が一同に研修できる場を設けていただきたいと思います。それに関わるような予算措置もお願いできればと思っております。以上です。

ありがとうございました。

大堀課長補佐

続きまして森委員、よろしくお願ひいたします。

森委員

私は今ここにどうしているのかを考えたときに、おそらく公民館にお世話になって、公民館活動を始めたことからいろんな学習の場に行かせていただくことができ、今があるのではないかといつも思っております。念願だった図書館も出来、今年度は司書も1名増えたということで、とても社会教育というか生涯学習が充実してきているなど常々感じております。ただ勤務態勢のことなのですが、確かに司書は増えたのですが、人が増えているわけではないので、週5日制度の兼ね合いがとても大変だと聞いております。それは児童クラブもそうなのですが、土曜日働くために平日お休みしなければならないということで、職員の配置についてあと一人必要なのではないかと感じております。(児童クラブでも) 全員出勤できないことでコミュニケーションがとれないというのは私たちも常に感じておりますし、図書館にもそういうことがあると聞いておりますので、具体的になるのですが、職員の充実ということであと一人を希望したいと周りを見ていてそう思います。ぜひその辺をお願いしたいと思います。

生涯学習として子育ては保健センター、高齢者は公民館という感じがなんとなくできていますと思っておりますが、保健センターでも高齢者の介護予防についていろいろな働きかけをしています。私もお手伝いしており、そのためか、子育てについての教育というか学習の場というのが今足りないのではという思いを感じております。私の頃は、もう少し公民館でいろいろな子育ての学習の場がたくさんあって、子育てで悩んだときにお話を聞くことができたなと思いました。今は足りなくてお母さん方が悩んでいるのではないかと、お母さんとお話しする機会が多い職業柄感じておりますので、その辺の充実のためにも公民館等も、もう少し職員の増員をして、そういう部分のお話を聞く機会というのを作っていただければいいのかなと感じております。

後は施設の方も学校等の建物も10年以上になってきて、外から見るとさびが見えたり雨漏りがあったりと聞いております。なったから修繕して

大堀課長補佐	<p>いくのではなく、計画的に直していかないと難しいと思いますので、その辺の予算配分等もよろしくお願ひしたいと思います。以上です。</p> <p>ありがとうございました。 続きまして大須賀委員、よろしくお願ひいたします。</p>
大須賀委員	<p>昨年度は PTA の立場として ICT の財政について、また春休み中の事件のことに關して通学路の安心安全について提案させていただいたのですが、要望を取り入れていただきありがとうございます。</p> <p>今年度は前年度のことも踏まえて、新地町が ICT のことで有名になり、新聞に出たと子供が喜んでいたのですけれども、マスコミ報道での対応によって新地町が有名になりました。また、それが学力向上にもつながっていると思うことがあります。今年度も継続して ICT を学校で取り入れていますが、ICT 支援員と学習支援員は大変重要と考えております。現在、ICT 支援員は 8 名でぎりぎりの状況です。また、電子黒板や無線 LAN の容量増加に伴い、おそらく予算が増加していくものと思われます。そういったことも負担になると思いますが予算編成のほうをよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>次に、平成 32 年度からでしょうか、5、6 年生の外国語も 1 単位だったところ 2 単位に、3、4 年生については 1 単位増えるとかで外国語を取り入れた授業も増えていくことになっています。それにあたり、小学校のアシスタントである ALT の先生が、現在新地町では 1 人で回ってやっている状態です。そういったことを考えると、おそらく負担増になってくると思われますので、増員を是非ともご検討いただければと思ひます。</p> <p>併せまして食育も 3 年目になっております。子供たちが食育で食事を作る機会を研修等で与えていただいたり、また、自分の家でもお弁当を作るとか、そういった食に関わる関心を持つようなきっかけを与えていただいていることに関しても、おそらくこれからも研修等で予算等も必要になってくると思ひますので、その旨をお願ひしたいと思ひます。</p> <p>それと併せまして昨年度もお願ひしました安心安全の町づくりの件を継続をお願ひしたいです。先日、白いワゴン車が新地町から駒ヶ嶺近辺でよく見られたということに対して、すぐに対応していただいて、やはり情報の共有はすごく大切だと思ひました。残念ながら、今年の 5 月に新地と福田の境辺りでひき逃げ事故があったようです。下校中の出来事だったということもあるのですが、子供たちもナンバーを見ていなかった等の不手際もあり、学校から指導を受けたようです。犯人は結局捕まらず、時間も時間だったので仕方なかったと思ひますが、みんなで子供たちを見守るといふのを大切にしたいなと思ひております。そういったことにもご協力いただければと思ひます。</p> <p>また、北朝鮮のミサイルの J アラートが 2 度ほど鳴っていますが、それが丁度子供たちの登校中の時間に当たっているということで、その配慮に学校の方でも混乱されたと思ひます。その後、J アラートが鳴ったときの対応ということで文書が出されました。J アラートは子供に限ったことではなく、大人にももちろん関係してくることなので、そういった予想外の出来事に関してもなにか良い対策が取れば、なにか共有できる情報があ</p>

大堀課長補佐	<p>ればいいのかなと思います。以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして小林委員、よろしく願いいたします。</p>
小林委員	<p>今回初めて教育委員ということで、総合教育会議に参加させていただいて、皆様のいろいろなお話を聞かして、何を話せばいいか迷っているところです。</p> <p>教育に関係するようになったというか、約10年ぶりくらいでしょうか、福田小学校の評議員ということで学校の活動を久しぶりに見学して、学習発表会のICT活用しているところを見て、とても衝撃を受けたのが事実で、こんなことが今教育の現場で行われているんだと、ましてや新地は先に進んでいるんだと感じたときになんてすばらしい町なんだろうと思いました。もう少し遅ければ私の子供たちもICT教育を受けることができたのかなと感じました。</p> <p>今、私の子供たちは大学生と社会人になりましたが、やはりパソコンを活用する機会が多くあります。若干学生時代にやっていたということもあって、親の世代よりは使いこなせているとは思いますが、やはり社会に出てそういった活動においてどうしてもパソコン作業が必要になってくるといことを考えると、小さいときからそういったものに触れるというのはとても大切なことなんだと、また、これから先に身につけていくべきことなんだということとても感じました。あと子供たちがとても生き生きと学校生活を送っているのを感じてとても嬉しく思いました。福田小学校は若干荒れていたという話を聞いて、どうなのかなと思いましたが、そんなことは全然感じられず、とても生き生きと一人一人大きな声で発言したり、協力して活動している発表会を見てとても関心したとともに、福田小は大丈夫だなと、これからは子供たちは元気に育っていけるなと感じたのが一つです。</p> <p>町全体を見たときに新地町ってどこなの？とよく聞かれます。新地町って何があるのと聞かれたときに、私は新地生まれの人間ではないのですが、新地町に20年近く住んでおりますが、誇れるものってなんだろうとつい考えてしまうことがあります。この間ラジオ番組があるから聞いてくださいと言われ聞いたときに、その方が新地町で一番最初に推されたのが鹿狼山でした。ああやはり新地の人が紹介するときは鹿狼山なんだと思ったので、やはり鹿狼山を整備して登山客が多くなったという話を聞いて、それはやはり嬉しいことですし、人が入るといことは大事だと思いました。私が新地町に来て新地町を知る上で新地町のツアーに参加したのですが、観海堂を見たときにとても衝撃を受けました。建物を見て、由緒ある建物が今まだあるんだと思ったときに、この施設は大事なところですし、伝えていくべきだということを感じました。しかし、現在流失してしまっているということは、とても残念なことだと思います。由緒のある観海堂は、文化財を紹介するという上で、また、新地町を紹介する上で大切ではないのかなと思いますので、是非とも観海堂の復元をお願いし、西に鹿狼山、東には海近くに観海堂、併せて海の近くの施設を充実する形で、山と海を</p>

大きな柱として新地町を紹介するというのも町の魅力づくりの一つではないかなと考えております。観海堂の復元を考えていただければと思います。

それと併せて町を紹介する上で、新地町にどこになにかがあるかというのがとても分かりにくいのかなと思ひまして、高速道路をたまたま利用して降りたときの正面の看板に、丸森町は具体的な施設の紹介がありますが、じゃあ新地町はと思ってみるとイメージの絵だけでした。新地町は何があるんだろうと分からない部分があると思いますので、あの場所での看板の活用は外からおいでの人にとっては大きな情報源になると思います。今の時代は車のナビなどがありますが、やはり視覚による影響というのは大きいと思いますので、看板をもっと具体的なものにしていただく、あるいは各場所についても大きく目のつくような看板に変えていただきたいと思います。新地町役場はここです、体育館はここにありますが、学校はこちらです、というような大きな看板設置というのはとても目につくのではないかなと思います。特によく国道6号を走っていて、新地高等学校の看板はすぐ目に入って、外から来ても一目瞭然なので良く分かります。やはり施設がどこにあるのか、というのを外からおいでの方にも分かってもらうために案内板の充実という大きな看板を設置して紹介するというのは大事なのではないかなと考えております。是非ともご検討いただければと思います。

あとは社会教育という立場になるかどうかはわかりませんが、これからの新地町は子供を増やさなければいけない、では子供を増やすためにはと、やはり若い方で結婚していない方たちに結婚をする場ということで、今婚活というのが結構各市町村でやっているのを見たり聞いたりすると、やはり新地町もぜひ新地町を紹介するのを兼ねて、あるいは他とのコラボ、たとえば観光協会等とコラボして、新地町の良さをアピールしながら婚活を開いて新地町を知ってもらい、住んでもらうということも兼ねて、まだ結婚していない人たちに出会いの場を提供するというのもあってもいいのではないかなと考えております。是非そういう形の行政を公民館や教育委員会が、後押しする形で実現していただければなというふうに考えております。以上です。

大堀課長補佐

ありがとうございました。  
それでは、最後に佐々木教育長、よろしく願いいたします。

佐々木教育長

一番は教育委員会と地域住民の皆様や学校の校長先生等との共通理解と、いいですか、同じ考えで新地町を良くしようという考えの基に、それを一番上に置いて、それぞれが一致団結して頑張るということではないかと思ひます。特に教育総務課の課長を中心に、みなさん同じ考えで共通理解を持って、指導主事と学校訪問を非常に多くしております。そういった形で何を求めるかということは、先生方も保護者もすべて周知しているだろうということが、先ほど町長からお褒めの言葉がありました、学校教育が非常に生き生きしている一つの要因であると思ひます。

3つほどあるのですが、1つは教育委員会でマンマシンハーモニー（MMH）という、人と機械との調和ということでICT教育をしているわけですが、そのことが学力向上にはっきり出てくるとは思ひませんでした。震災による影響が落ち着いてから学力向上ということだったので、



指導主事、校長先生を始めとする学校の協力が良く、結果として学力が目覚ましく向上しました。まあ予想外といえますか、予定以上なことだと私は思っています。

2番目としてやはり仕掛けです。人と道具ということで今度の広報しんちには紹介するつもりですが、私個人が教育内容をいくら語ってもこれは以外と浸透せず、信用もされません。ここにおいで教育委員の方が一生懸命言ってもなかなか信用されないのが現実です。しかし、言ったことが認めてもらえるためにはマスコミの皆さん、例えば新聞記者の方に認めてもらうことが大切です。記事を書く人たちは話題性があるかないかを冷静に判断した上で記事をお書きになると思います。やはり、第三者の目で評価して頂き教育活動の素晴らしいことを書いてもらう、私はそれが地域の皆様方の評価にもつながると思っています。

3番目には町長を始めとする町行政の理解がないとなりません。それから議会、町民、地域の方と続くわけですが、やはり財政的な支援をきちんとして理解を持って行っていただいているからこそ、子どもたちの目に見えた伸びがあったと私は自覚しております。社会教育場面、公民館、図書館、先ほど言っていたいただきましたが、やはり各種大会のまとめなど、現体制の下でフル回転で取り組んでおります。これは館長の力だと思っています。リーダーシップを取っていただいていることに感謝しております。私が最初新地町に来たときは、常に図書館と全部の公民館に歩いていたのですが、足が遠のきつつあるのは行って館長の話聞いておると、目が実によく行き届いていると私が行くとかえって口害になるような感じが受け取れたからです。

各学校には週に2、3回は必ず行っております。おかげさまで学校教育に目を向けることができるな、という風に考えております。やっぱり人の意欲といえますか、リーダーシップというのは私は大事だと思います。その意味では教育委員会に小林さんが入り新しくなったのですが、文化財などの意見を聞いていると、身につまされますね。やはり、私たち教育委員会は新しい体制で建設的な視野で町に対しての感謝でどうやって恩を返していくかという形で一丸となって頑張っていこうという決意でおります。以上です。

大堀課長補佐

ありがとうございました。  
それでは、PART3を終了させていただきます。

大堀課長補佐

続きまして、PART4に移りたいと思います。  
本日の会議の締めくくりといたしまして、町長に感想を交えながら、まとめの言葉をいただきたいと思います。よろしくお願ひします。

加藤町長

各委員の皆様方から町づくり人づくりに対する貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。私も町づくりは人づくり、これがいつも原点となっております。

私が新地町に住んでいつも思うのは、我々の先人は新地町に終の棲家を選んだというのはすごく先見性があるなということ。7年前の大震災には遭いましたが、これまで列島全体を見ても新地町は自然災害が少な

い地域です。気候、環境もいいと思いますし、先人たちが築いてくれたこの地を我々がしっかりと受け継ぎ、そして次の世代へとバトンタッチしていくことが大切ではないかなと思います。そういう意味では、それぞれ委員の皆様方も真剣に考えていただいている嬉しく思います。子供の教育、社会教育、そして町の様々な歴史文化など多くのご意見いただいて、大変ありがたいなと思っております。

高崎委員からはいろんな文化財保存を継続してやってほしい、検討してほしいというお話をいただきました。文化財は町の貴重な財産だと思っています。それを我々は守るだけではなく、他の人たちに、例えばこの地が東日本大震災以降、みちのくトレイルとかそういうルートで東日本全体、岩手県、宮城県、そういう中で私たちもルートの一つに入っておりますし、町民はもちろん、町外から来ていただく人たちにも、新地の歴史、文化に触れていただく、知っていただく、そういうルートに一部入っております。入っていない部分もありますので、そういうのも整備しながらPRをする、そういう形でやっていきたいと思っております。

それからスクールカウンセラーについて、今県の方から配置していただいておりますが、町の予算でとりましたが、それは今後とも県の方とも協議をしながら、スクールカウンセラーの重要性必要性というのを充分認識しておりますし、今後も継続できるような県の方に対しても要望していきたいと思っております。

また、教職員の研修の実施、みんなここでやるということも大変なことだと思いますので、できれば選任の講師の先生にきていただいて、先生方が時間が空くときに、一緒に休みの日とか講義を聞いていただける、そして自分自身に講義につけていただけるような、そういうのも今後できれば検討していきたいなと思っております。

森委員からは日々子供たちに接していただいて、社会教育から子供たちの放課後面倒を見ていただいております。子育ての学習の場、公民館社会教育だけじゃなく健康福祉課の保健師たちも含めて子育てのお母さんたちがどう子育てするか、自分たちが悩んでいることなんかを交換することが出来る、手助けしていただける、そういう会合をより充実していけるように、それぞれの年次計画の中ではやっていると思うのですが、まだまだ浸透していない部分もあるかもしれません。お互い連携をとりながら充実させていきたいと思っております。

図書館の方の司書が増えました。図書館も蔵書の方も含めて充実してきていると思います。スタッフ等では司書を一人増やしましたが、現場においては確かに限られた人数の中で、祝日とか日曜、そういう利用者に対する充実したサービスができるように手厚いサービスができるように思っているのですが、限られた人数で回していくというのは、なかなか大変なことだなと思います。確かに人を増やして、もっとよりよいサービスをとると思うのですが、やはり新地の人口規模の中で職員定数とかもあり、また今現在は震災ということもあります。全国から多くの支援の応援の職員派遣していただき町の復旧復興を進めております。図書館の部門においてもより充実した体制をとる願っておりますが、また新たな職員採用はなかなか

か厳しい状況にあります。そういう中でどういうところに課題があるのか、そして利用者の方からどういう声が上がっているのか、そういう場合は臨時の職員を充実させるなど利用者の皆さん方のサービスを行っていきたいと思っております。

あと学校の校舎の管理、修繕とか開館等を含め、もちろん私たちも常に子供たちの学校教育現場の環境管理運営に対しても、前もって計画的にやっていきたいと十分思っているわけですが、それに対する予算も一緒について行かないと難しい面もあります。ただ、学校の現場において子供たちの授業において来校される皆さん方から指摘を受けることのないような、やっぱり新地町はすごいよね、教育の現場、中身だけじゃなくて外もそろっているよね。そういう環境づくりをしていくことが大切だと思っております。皆様方からご指摘いただいたようにも、修繕にしても、あるいは外観の整備等についても計画的にしっかりと対応していきたいと思っております。

大須賀委員の方から、ICT 支援員の継続、そしてまた平成32年からの3、4年生英語教育の導入、5、6年生の時間増の件。私も今のスタッフの中ではなかなか大変だと思っております。新地町にも外国人として登録して新地町に住んでいる人は普通の生活をしています。海外から、例えば新地町のある会社では中国やフィリピンとか東南アジアから来て働いている、そういう場合を含め20数名外国人の人たちがいらっしやいます。これからは国際化の時代です。そういう意味では役場の職員にもいつでも大丈夫ですよ、窓口にきても対応できますよ、という職員が欲しい。そして時には、学校とも連携をとりながらお手伝いできるように、そういう人もいればいいと思っておりますのですが、なかなかそこまではいっておりません。これからの時代は子供たちが外人さんと会い、いつでもフランクに気軽にコミュニケーションをとれるような環境づくりをやっていかななくてはならないと思っております。私たちも中学校・高校・大学と10年間ほど勉強を一生懸命してきました。しかし、ヒアリングと会話が困難な状態です。やはり、現代社会では、聞く、話す、英文法から入るだけではなく、日常的にヒアリング、スピーキング、そういう授業のできる環境づくりが必要だと思えます。そういう面で、英語指導の先生方をもっと増やしていきたいという願いを常に持っております。

冒頭で話しましたが子ども、ICT教育や英語教育とか食育など子供たちの教育現場が確実に変わってきています。しかし、新地町の子供たちがそれに伴う結果として、学力向上につながっているのは大変いいことだなど。

教職員の皆様方が国の提案しているメニューを検討しながら、新地町にこういうメニューをと手を上げて採択を受け取り組んでいること。モデル事業として取り組み、子供たちも精神的にも充実した授業ができてるといのは大変いいことだと思えます。また、それが着実に成果として現れていると思っております。ただ、国の支援というのは永久に続くわけではありません。だいたい2、3年くらい後は独自に頑張ってくださいということなんです。そういう面はいい取り組みを行い、精神的向上心を育成している取り組みを補助金が終わったからそれで終わりではなく、やはりそれを生かし継続してやっていく、これが大切だと思っております。私自身も

議会もそういうものに対する理解を持っていると思います。今後とも国際化時代に向けたさまざまな ICT 活用教育、あるいは英語教育等においても取り組みを支援していきたいと思っています。

それから食育についても、安心安全の町づくりという観点の元で町民みんなで取り組みをしていこう、そういう意気込みで引き続き取り組んでいきたいと思っています。

それから最後に J アラートの問題もありました。私たちも J アラートが鳴って確かにビルの地下に逃げろといっても、新地町にそんなに避難する場所はありませんし、そういう生活環境にいて子供たちの通学時だけに限らず、私たちの日常生活の中で家庭において、どこに避難したらいいのかといわれてもなかなか難しいですよ。家の方ではテレビを見れば、壁によったりカーテンを閉めたりいろいろありますけど、町が対応できるのも限界があると思います。国の方からこういうときの対応の仕方というものをしっかり示していただけることを望んでおります。そういう危険にさらされることが起こらないのが一番ですが、そういうものに対しても国の方からしっかり対処や広報等の在り方についても指導いただけるような意見を申し上げていきたいと思っています。

小林さん、初めての総合教育会議で参加していただいて、でもこれまでも評議員として福田小学校の PTA の活動を見守って、そして応援してきていただいていて本当にありがとうございます。

町の紹介、私たちも思いますよね。いろいろ外に行ったときにどちらからといわれたとき、自信を持って新地町から来ましたと子供たちも私たちも含めて言えているだろうかと思うんです。私はどこから来たのと聞かれたときに前は相馬の隣の新地町です、相馬野馬追いで有名な相馬地方からと答えていました。当時は、新地町だけでは理解して頂けるのかと思うとなかなか難しいと判断していました。しかし、今は福島県の新地町からきましたとはっきり言います。新地町はどこにあるのと聞いていただければ、新地町の紹介もできると思っています。子供たちも自信を持って新地町ですと自分の出身を言えるように、小林さんからあったように新地町で自信を持って紹介できる、例えば鹿狼山とか観海堂とかのお話もありましたが、今後もっと新地町の自信を持って紹介できる特色あるものを作り上げていかなければならないと思っています。観海堂の復元等いろいろお話がありましたけども、その分野の委員会の皆様方にもご意見をいただきながら検討してまいりたいと思います。

さて、今駅前周辺整備ということで、町の玄関口となる新地町の駅前、そこに交流センターとか、あるいはホテル、温泉施設、植物工場など新地町に降り立って新地町を PR できるもの、そういう施設、そしてまた商店街区といいますか、お店等も含めて整備し、来年の今頃か、あるいは暮れ頃にはホテルも温泉施設も交流センターも完成までは至っていないと思いますが、工事が進められているはずで。新地駅前もこんな姿になるんだということがわかっていただけたと思います。いろんなお店もテナントも入れましようということで、まもなく募集等も行っていこうと考えております。

LNGの基地ができました。パイプラインが相馬港と日本海の新潟と全部繋がりました。そのパイプラインからガスを分けてもらってエネルギーセンターを作り、熱、電気、CO<sub>2</sub>を活用した新たな会社もまもなく立ち上げます。町も出資いたしますが、専門に関係する企業等にも出資していただくエネルギー会社です。まもなく皆さん方にもどういう会社名にするか案をいただく予定です。もうすぐ発表できる段階だと思いますが、そういうエネルギー会社を作り、そのエネルギーをホテルとか温泉施設、交流センターあるいはスポーツ施設、観光農園そういうものにも活用していきたいと思います。新地駅に降り立ったらこんなに賑わいの施設があるんだと、もっともっとPRし。新地町に来ていただける人たちを増やしていきたいと考えているところです。

新地町の震災の時、8,000人の人口だったのが、一時期人まで落ちました。今、8,200人であり、人口が回復してきました。福島県に59の市町村があるのですが、3年連続人口が増えているというのは新地町と中通りの大玉村、この2つだけなんです。その大きな要因は震災後、第一原発のエリア周辺の人たちが新地町の仮設住宅に避難して生活していて、新地は生活しやすい、子供たちの教育環境も整っている、そして、経済圏、仙台まで一時間足らずで行ける、そういうのが大きな魅力となり、新地町に家を建てて住もうとお考えの皆さんが増えています。150～160軒以上です。この震災以降、町外から新地町に来て、家を新しく建てて生活している人たちのおかげで町の人口も年々増えてきております。町の総合計画でもこれから5年間のうちに8,700人まで人口を増やしていこうと表明しております。総合計画の後期計画の中にもそういう計画を立てているところです。町では毎年、だいたい十年間に亡くなる方は130人前後、生まれてくる赤ちゃんは60人前後です。つまり、自然減で70人くらいずつ減っていくわけですね。それを超えて増やしていくというのは大変な取り組みです。そういう中ではもっと若い世代の人たちを新地町に定住していただきましょう、ということで若者定住促進住宅、福田の方に12戸作りしました。全部入りました。今新たにこの町の役場の裏のところ、駅前エリアも新たな住宅建設が始まろうとしています。やはり若い人たち、子供を持つ世代に多く住んでいただく、そういうことで若い人たちが定住できるような環境づくりをもっともっとしていかなければならないと思っております。小林委員からも人口増には結婚問題が大きな課題ではないのと提案いただきました。結婚問題も長年の課題ですね。結婚相談員を配置したり、各地区の区長さんとか地域のいろんなお世話いただける取り組みも行ってきましたが、なかなか思うような成果が出ませんでした。それでは若い人たちにお願いしようと、役場の若い職員の結婚式には若いお友達がいっぱい来るじゃないですか、そういう身近なところからいろんな紹介を、あるいは商工会青年部の人たちも含めて出会いの場を作ってほしい、町政がやるよりも若い民間の人たちのほうが効果があるということでやってきました。何組かの成果もできました。でもその後はなかなか難しい状況です。今大きな課題だと思っておりますし、なんとか未婚の人たちの出会いの場を提供していきたいと思い取り組んできましたが、プライバシーの問題もあり、余計なことという意見も結構あるものですから、どのような形での場の提供がいいのか大きな課題です。皆さんのお知恵をいただきながら推進していき

たいです。教育委員の皆様方どうでしょうか。いろんなアイデアをいただけるなと思いますので、何かいい企画があればお寄せ下さい。

サイン計画もいただきましたね、確かにあそこのインターを降りて、一番最初に丸森の看板上がったんですよね。町の方が遅れて病院の看板が上がったりという話が小林委員からありました。町で公共施設あるいは観光文化的なしっかりとしたサイン計画を出していかなければならないと思っております。一時期、震災前に作ったサイン計画もコンパクトであり目立たないとの意見もありました。町の方でもサイン計画を見直し、よりよい新地町をPRできるような、活動をやっていきたいと思っております。

委員の皆様方からいただいた貴重なご意見をしっかり受け止めて、今後一つ一つ具現化できるように、予算等も伴ってきますが前向きに検討していきたいと思っております。ありがとうございました

大堀課長補佐

ありがとうございました。皆さまからご質疑はございますか。

最後に総務課長より事務連絡を申しあげまして平成29年度「総合教育会議」を閉じさせていただきます。総務課長よろしく申し上げます。

岡崎総務課長

それでは事務連絡を申し上げます。来年度の「総合教育会議」についてですが、ただいま各委員さんからご意見ありました部分の現状との関係もあり時間を費やすと考えております。そういった検証も含めまして今年度同様に年に1回、10月開催ではいかがかと考えております。今後、担当間で協議して調整してまいりますので、次回日程につきましては、後日お知らせいたします。

本日はありがとうございました。

(午前10時10分会議終了)